

特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ代表理事

災害子ども支援ネットワークみやぎ代表世話人 小林純子

1. 宮城の子どもの現状

(1) 家がない子どもたち	避難所数 175 か所、避難者 6,029 人 (8月24日現在)
(2) 食事・給食が足りません	避難所から仮設・みなし仮設へ 支援物資の停止
(3) 学校のスペースが足りません	まだ避難所になっている学校 校庭に仮設
(4) 学校の備品が足りません	自治体の機能低下・教育予算の節減、執行停止
(5) あそび場が足りません	がれきで遊べない、公園に仮設
(6) 幼稚園・保育園・学童保育が足りません	施設崩壊 職員離散 法人の経営撤退
(7) 将来が不安です	就職先喪失
(8) 健康被害が心配です	がれきの中のアスベスト 感染症 放射能
(9) いじめ・差別の発生	
(10) 長引く災害ごっこ遊び	

2. みやぎの子ども支援における緊急課題として県に提示

みやぎの子ども支援における緊急課題

2011年8月12日 災害子ども支援ネットワークみやぎ作成

1. 住環境 (プライバシーが守られ、家族が住む十分な環境が与えられる。)

- (1) 避難所から仮設、またはみなし仮設への早期移転

2. 食環境 (子どもの成長に必要な栄養がとれる環境をつくる。)

- (1) 避難所から仮設、またはみなし仮設へ移った場合でも食料提供を十分におこなう
- (2) 完全給食がまだ実施されていないところについては早急に対応。

3. 学習環境の整備 (学ぶ環境、健康・体力の維持ができる環境整備)

- (1) 校舎建築・遠距離通学の解消
- (2) 早期に仮設建設し、学校の避難所を解消
- (3) 併用している施設の建設・移転
- (4) 学校備品の購入・不足の場合は教育予算以外での調達を急ぐ
- (5) 体育指導環境の整備
- (6) 校舎・通学路などでの健康被害(がれきの中の有害物質、アスベストなど)の回避
- (7) 部活動・課外活動に必要なものの整備

4. 心のケア (子どもが被災後に、ステップを踏んで回復することを援助する。)

- (1) 子どもに寄り添うのは、基本的には毎日接する親・教師であることを認識する
- (2) 親や教師を支援する体制を整える
- (3) 親や教師が様々な情報に振り回されることを防ぐ
- (4) 子どもがリラックスできる環境を作る(あそび場の確保・校内プレイルームの設置など)
- (5) 心配な子どもを発見した時のつなぎ先を確保する
- (6) 児童館職員・学童保育指導員などの研修、児童館・学童保育未設置場所への新設
- (7) チャイルドラインの利用

5. 乳幼児とその親への支援 (孤立しがちな在宅育児者への支援・両立支援の強化)

- (1) 孤立している親への支援 物資提供、サロン活動など
- (2) 被災している保育園・幼稚園の再開(復興を担う親世代・次世代の定着)
- (3) 情報提供と、相談や学習機会の提供

6. 子どもの参画

地域復興計画などに子どもの意見を取り入れる

7. 親への就労支援

3. 現在進んでいる計画・会議など

- (1) 子ども支援連絡会議 県の担当課・NGO・災害子ども支援ネットワークみやぎ
子どもの参画部会提案
- (2) 県内NPO情報交換会
- (3) 「仙台市 絆と安心プロジェクト 安心見守り協働事業」
仙台市が一般社団法人パーソナルサポートセンターに委託 (主管 市民共同推進課)
仮設・みなし仮設見守りおよび就労支援のための絆支援員養成と雇用
- (4) 宮城県「サポートセンター支援事業所」開設予定
社会福祉士会に委託 (主管 長寿社会政策課)
県内自治体に設置するサポートセンター (仮設・みなし仮設見守り、支援員研修、イベント実施
など) への支援 事業所開設 2名の職員配置
関係団体：社会福祉士会・弁護士会・NPO法人CLC・NPO法人ワンファミリー仙台
NPO法人チャイルドラインみやぎ など
- (5) 被災した子ども及び家族等への支援事業 (主管 子育て支援課)
県から市町村への子育て支援事業に対する補助
NPOに委託して、地域NPOと市町村に対する情報提供と助言など実施
事業例：子どもの遊び場の確保・保育活動・巡回訪問・心の回復を助けるイベント・講習会、
研修会、相談会の実施
- (6) 人権教育について (子ども・高齢者虐待、DVなどを含む)
 - ①「仙台市 絆と安心プロジェクト 安心見守り協働事業」の講座に人権学習を義務付け
 - ②県内サポートセンター支援員研修に人権学習を義務付けるよう要請
 - ③宮城県人権指導者研修 (主管 生涯学習課)
10月20日 自治体職員対象 「震災と人権」をテーマに研修会
- (7) 物資支援
宮城県災害対策支援チームと災害支援子どもネットワークみやぎとの連携で物資提供
- (8) 放射能被害に関するシンポジウム 9月中予定
- (9) 全国シェルターシンポジウム 2011 in 仙台・みやぎ 11月19日
- (10) 震災によるひとり親家庭を考えるシンポジウム 11月24日